

知財で電力新時代を切り拓く。

知財活動を 競争力強化の源泉として

世界規模での脱炭素化の加速、国際情勢の影響による燃料価格の高騰等、当社グループを取り巻く環境は大きく変化しています。

2030年度をターゲットとするグループ経営ビジョン「エネルギー・アーチャンジ2030」の実現に向け、知財活動においても「知財戦略基本方針」を策定していますので、本報告書でその取り組み状況を紹介いたします。

当社グループは、事業運営のあらゆる場面で生み出されている知的資産を知財として認識・活用し、企業価値を向上していくことがグループ存立の基盤であると考え、2003年度からグループ全体で知財活動を推進してまいりました。

グループ経営ビジョンの実現に向け、持続的な成長を支える知財収益基盤の構築を目指し、知財活動を展開してまいります。

多様な人材の結集で 未来を創造する

当社は“人”に関するグループ全体の包括の方針として、2023年3月に「多様な人材の活躍推進方針」を策定し、そのなかで、社員一人ひとりが目指すべき姿として「自ら考え行動」することを掲げています。

当社グループの経営理念「信頼。創造。成長。」を体現していくため、日頃から社員には、自分の価値観やルールについての知識が社会のそれらとずれていかないかチェックする「良識のチューニング」を行いながら、チャレンジすること、そして議論することの重要性を伝えています。議論が行われ、活気のある会社にはチャレンジが次々と生まれてきます。チャレンジに伴うリスクを管理しながら、組織の多様な価値観を受け入れ、力を結集することが、グループ経営ビジョン「すべての人が持ち場で輝く」にも繋がると考えています。

今回の報告書では、こうした取り組みに関する知財活動を特集として取り上げています。「多様な人材の結集で未来を創造する」とした活動の一端をご覧いただければ幸いです。

代表取締役 社長執行役員

中川 賢剛



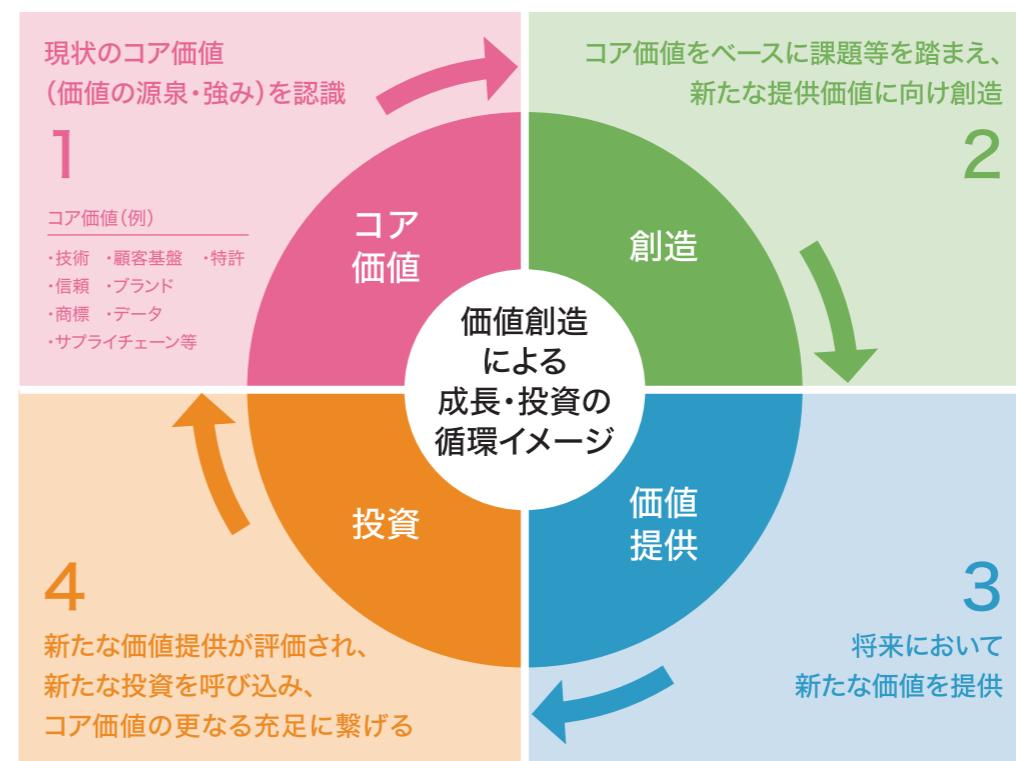
ステークホルダーの皆さまの 期待にお応えするために

コーポレートガバナンス・コードの改訂を契機として、知財・無形資産の投資・活用戦略の開示が、これまで以上に求められています。

知的財産報告書をはじめとした様々な活動を通じて積極的に情報発信するとともに、皆さまからお寄せいただく声に十分耳を傾けてまいります。

当社グループは、価値創造による成長・投資の循環サイクルによって知財活動の取り組みを一層深化させ、ステークホルダーの皆さまのご期待に、グループ一丸となり応えてまいりたいと考えています。

今後とも、一層のご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。



エネルギー・アーチャンジの 知財活動イメージ

エネルギー業界の競争環境の変化が進むなか、競争優位の源泉となるものは、保有している企業のみがコントロールできる「知財」であり、それを生み出す「人材」と考えます。

当社グループは価値創造による成長・投資の循環サイクルをイメージした知財活動に取り組み、企業価値の向上に努めます。

また、ステークホルダーの皆さまとの繋がりを大切にしながら、グループ経営ビジョンに基づいた知財活動を積極的に推進するとともに、それを支える人材育成にも取り組みます。